

## 国際交流基金アジアセンターpresents 「CROSSCUT ASIA #01 魅惑のタイ」 学園・歴史ドラマからおなじみのホラーまで、ラインアップを発表！

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)アジアセンターは、10月23日に開幕する第27回東京国際映画祭(Tokyo International Film Festival:以下、TIFF)にて、TIFFと本年度より開始したコラボレーション・シリーズ「CROSSCUT ASIA」の第1弾として、タイ映画の魅力に迫る大特集を開催いたします。最新作を中心に、大手からインディーズまで、学園ドラマや映画化が4回目となる歴史ドラマ、そしておなじみのホラー映画まで、タイ映画の幅広さをたっぷりとお届けします。会期中は、全作品ゲストの来日を予定しております。つきましては、是非貴媒体にて本情報をご紹介頂けますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



### ■ 特集タイトル:国際交流基金アジアセンターpresents「CROSSCUT ASIA #01 魅惑のタイ」

■ 概要: 本年(2014年)、アジアの国、監督、俳優、テーマなどに焦点を当て、アジア映画の特集上映を行う「CROSSCUT ASIA」(クロスカット・アジア)部門を創設。アジアの現在(いま)を鋭く切り取った珠玉の映画を紹介していきます。初年度の今年は、近年めざましい躍進を遂げるタイ映画に注目。新作を中心としたラインアップでタイ映画の魅力に迫ります。

※「CROSSCUT ASIA #01 魅惑のタイ」ラインアップ一覧、ゲスト来日情報等詳細は次頁以降をご覧ください。

### 【特典】 来場者に特別パンフレット(非売品)を配布！

本企画を記念して、「CROSSCUT ASIA #01 魅惑のタイ」特集パンフレットが完成。今年のコンペティション部門『紙の月』原作角田光代さんのエッセイや、同部門『壊れた心』主演で、タイ映画にも出演経験のある国際派俳優、浅野忠信さんのインタビュー、アピチャップン監督と石坂プログラミング・ディレクターの特別対談まで、タイ映画ファンならずとも手に入りたい限定パンフレットを映画祭会場内にて無料で配布いたします。



第27回東京国際映画祭 <http://www.tiff-jp.net>

【開催期間】: 10月23日(木)~10月31日(金)

【会場】: 六本木ヒルズ(港区)、TOHO シネマズ 日本橋(中央区)他

●東京国際映画祭に関するお問い合わせ: マンハッタン・ピープル(相良、猿谷、田中館)

Tel: 03-6215-6220 / Fax: 03-6215-6221

●国際交流基金に関するお問い合わせ: 国際交流基金 アジアセンター(村田、熊谷)Tel: 03-5369-6025

コミュニケーションセンター(川久保、麦谷)Tel: 03-5369-6089 / E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)

国際交流基金アジアセンター presents

CROSSCUT ASIA ラインナップ一覧 #01 魅惑のタイ

来日情報は10月9日現在の予定です、変更の場合もございますのでご了承ください。



©Mosquito

Films

Distribution

2014年ロッテルダム国際映画祭国際映画批評家連盟賞受賞作品

農村に暮らし、稲をめぐる折々の日々を追った、珠玉のドキュメンタリー！

『稲の歌』

監督：ウルボン・ラクササド

キャスト：プラヤット・プロムマー

ドキュメンタリー

『稲作ユートピア』（山形国際ドキュメンタリー映画祭 09 出品）で知られるウルボン監督の農村ドキュメンタリー最新作。広大な田んぼと稲の成長。折々の祭礼、歌、踊りの数々。とりわけクライマックスの手作り打ち上げ花火のシーンは圧巻！日本の稲作文化と比較してみるのも一興。

ピムパーカー・トーウィラ（プロデューサー）来日予定



©2014 GMM Tai Hub Co., Ltd.

美しい自然に囲まれた、水上の小学校を舞台に繰り広げられる、心温まる物語！

『先生の日記』

監督：ニティワット・タラトーン

キャスト：スクリット・ウイセートケーオ、チャーマン・ブンヤサック

青春

ロマンス

山と水に囲まれた僻地の小学校に赴任した青年教師ソーンは、学年の違う4人の児童を受け持つ。職員室に残された前任の女性教師エーンの日記を読むうちに、ソーンは会ったこともないエーンのことを気にかかりはじめる。ニティワット監督は『フェンチャン ぼくの恋人』の共同監督のひとり。

ニティワット・タラトーン監督来日予定

<監督プロフィール>

1974年生まれ、ロマティック・コメディ『フェンチャン ぼくの恋人』(03)で他の5人の監督と共に監督デビュー、2003年にタイ国内でトップの興行成績を収める。06年に“Seasons Change”で単独監督デビュー。09年の“Dear Galileo”は親しみやすく、愛すべき登場人物たちがタイの若者層の人気を呼び好評を博した。



© 2014 SAHAMONGKOLFILM INTERNATIONAL CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

日本の佐賀・唐津くんちロケ、さわやかなラブ・ストーリー！！

『タイムライン』

（協力：アジアフォーカス・福岡国際映画祭）

監督：ノンスイー・ニミット

キャスト：ジーラユ・タンシーヌック、ジャリンポーン・ジュンキアット、

ピヤティダー・ウオラムシック

青春

ロマンス

『ナンナーク』『ジャンダラ』のノンスイー監督の新作。母子家庭で育ったテーンは母の意に反してバンコクの大学へ進学、そこで美しいジューンと出会う。ハートフルな物語に、唐津くんちなど佐賀県各地で撮影されたシーンが彩を添える。

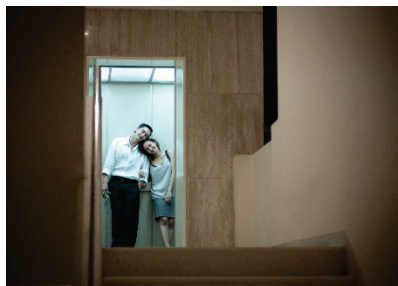
ノンスイー・ニミット監督、ナモン・ポンウィライ（プロデューサー）来日予定

<監督プロフィール>

1962年生まれ。タイの著名な監督兼プロデューサー。1990年代後半にタイ映画が世界のスポットライトを再び浴びることになった立役者のひとりである。今も映画業界で強い影響力を持ち、国際的な注目を集めている。







©Mosquito Films Distribution



**世界中の監督からラブ・コールを受けるリー監督、待望の初監督作！！**

『**コンクリートの雲**』

監督：リー・チャータメーティクン

キャスト：アナンダ・エヴェリンハム、アピンヤー・サクンジャルーンスク、  
ジェーンスター・パーントー

ロマンス

涙！

アピチャッポン監督『ブンミおじさんの森』などの編集技師として知られるリー監督デビュー作。1997年、アジア金融危機の余波で自殺した父親。葬儀のためニューヨークから戻ったエリートの子と、バンコクに暮らす弟。タイとアメリカを往還する物語に「経済」と「愛」が交錯する。

**リー・チャータメーティクン監督、プラウィット・ハンステン（男優） 来日予定**

<監督プロフィール>

1976年生まれ。2007年、香港で開催された第1回アジア・フィルム・アワードで『世紀の光』が最優秀編集賞を受賞。08年にはバンコク映画批評家協会より『ワンドフル・タウン』の編集に対して賞を授与される。最近では“Karaoke”が10年のアジア・フィルム・アワードで2度目となる最優秀編集賞を受賞。



**タイ・ホラーの十八番、先の全く読めない展開に釘付け！**

『**ラスト・サマー**』

監督：キッティタット・タンシリキット、シッティシリ・モンコンシリ、サランユー・ジラーラック

キャスト：ジラーユ・ラオンマニー、スタッター・ウドムシン、ピンパカーン・ブレークナタム

ホラー

ホラー王国タイで昨年の大ヒットとなった、若手3監督による3話ルー式のオムニバス・ホラー。新進女優ジョーイがフェイスブックで「死にたい」とつぶやいたことがきっかけで、運命の歯車が狂い始める。『タン・ウォン〜願掛けのダンス』のコンデット監督が本作では全編の脚本を担当している。

**スタッター・ウドムシン（女優）、ルタイワン・ウォンシラサワット（プロデューサー） 来日予定**

**タイで圧倒的支持を受けるラブ・ストーリー、4回目の映画化！**

『**メナムの残照（2013年版）**』

監督：キッティコーン・リアウシリクン

キャスト：ナデート・クギミヤ、オラネート・D・カベレス、ニティット・ワーラーヤーン

青春

太平洋戦争中のタイ。駐屯する日本軍に反発しながらも誠実な海軍少尉・小堀に惹かれていくタイ人女性アンスマリン。運命のカップルはやがて結ばれるが、抗日活動に身を投じたかつての恋人がアンスマリンの前に現れて…。タイ人なら誰でも知っている物語、4回目の映画化。

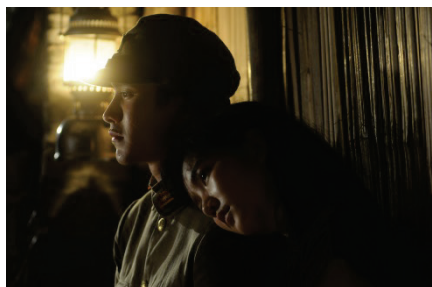
**キッティコーン・リアウシリクン監督、主演女優オラネート・D・カベレス来日予定**

<監督プロフィール>

音楽系の会社でキャリアをスタート、1990年に著名な映画製作会社で仕事を始める。初のコメディ映画“18-80 Buddy”を監督し、翌年“A Miracle of Ohm & Somwang”を監督。その他の作品には“Goal Club”(01)“Saving Private Tootsie”(02) “Ahimsa Stop To Run”(05)“Bullet Wives”(05)“Buslane”(07)“Dreamteam”(08)“That sounds good”(10)などがある。



©2013/M THIRTY NINE CO.,LTD





©Song Sound Production



**タイ・アカデミー賞 2014 で最優秀作品賞他 4 賞を受賞作品**

**今どきのタイの高校生をポップ&オフビートに描いた、新感覚の楽しい青春映画！**

『**タン・ウォン～願掛けのダンス**』

監督：コンデート・ジャトゥランラッサミー

キャスト：ソンポップ・シッティアージャー、シリパット・クーハーウィチャーナン、ナタシット・コーティマナスワニット

青春

音楽

『手あつく、ハグして』『P-047』のコンデート監督の近作。神様に願掛けをした4人の高校生が、チームを組んでタイ伝統舞踊を舞うことに。素人ダンサーたちが猛練習の果てに掴んだものは…。『タン・ウォン』とは踊りを始める前に構えるポーズのこと。

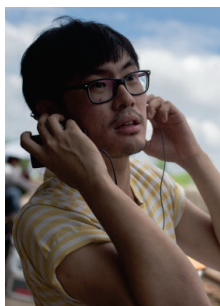
コンデート・ジャトゥランラッサミー監督来日予定

<監督プロフィール>

2002年、映画会社サハモンコン・フィルムのもと初長編作“Seyew”を監督し、シアトル国際映画祭で特別賞受賞。2作目となる『ミッドナイト、マイラブ』(TIFF05 出品)はドーヴィル・アジア映画祭で最優秀脚本賞を受賞。また映画会社 GTH のもと監督 3 作目となる『手あつく、ハグして』を手掛ける。最新作『P-047』は 11 年ヴェネチア映画祭でプレミア上映された。



©Very Sad Pictures



**2012 年釜山国際映画祭ニューカレント賞受賞**

**36 の短いシーンで物語を紡ぐ、新鋭監督の才能が光る逸品！**

『**36 のシーン**』

監督：ナワボン・タムロンラタナリット

キャスト：コラミット・ワッチャラサティアン、ワンロット・ルンカムジャット

青春

ロケーション・ハンティング系の女性と美術担当の男性——映画スタッフの男女の恋の行方が、ワンシーン・ワンショットによる 36 の場面で綴られる、新感覚のインディーズ作品。大量のツイートが画面に溢れる『マリイ・イズ・ハッピー』(TIFF13 出品)で話題を呼んだナワボン監督の長編デビュー作。

ナワボン・タムロンラタナリット監督来日予定

<監督プロフィール>

1984 年生まれ。チュラロンコン大学で中国語を専攻。在学中から短編映画を制作。長編デビュー作となる本作が 2012 年の釜山国際映画祭でニューカレント賞を受賞。2 作目の『マリイ・イズ・ハッピー』(TIFF13 出品)は 2013 年のヴェネチア映画祭でプレミア上映された。

**【国際交流基金アジアセンターとは】 [www.jfac.jp](http://www.jfac.jp)**

国際交流基金アジアセンターは、アジア域内に住む人々の間に、共に生きる隣人としての共感、共生の意識を育んでいくことを目指し、文化事業、知的交流事業、日本語教育事業をはじめとした幅広い分野で、日本とアジア諸国との交流と協働を促進、強化するさまざまな活動を行っています。東南アジア地域を主な対象とする交流事業や調査・研究活動等を支援する助成プログラムも実施しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

**【東京国際映画祭(Tokyo International Film Festival, TIFF)】 <http://2014.tiff-jp.net/ja/>**

27 回を迎える東京国際映画祭(以下、TIFF)は日本で唯一の国際映画製作者連盟<sup>(注1)</sup>公認の国際映画祭です。1985 年、日本ではじめて大規模な映画の祭典として誕生した TIFF は、日本及びアジアの映画産業、文化振興に大きな足跡を残し、アジア最大級の国際映画祭へと成長しました。いまや最も熱気溢れるアジア映画の最大の拠点である東京に、世界中から優れた映画が集まり、国内外の映画人、映画ファンが新たな才能とその感動に出会い、交流する場を提供します。

(注1)国際映画製作者連盟:世界の映画産業、国際映画祭の諸問題を改善、検討する国際機関。パリに本部を置き、世界 29 ヶ国(2014 年7月現在)が加盟している。